

平成 30 年 7 月

新専門医制度のお知らせ（18）  
～専門研修カリキュラムの変更について～

専門医制度委員会 担当副理事長 芳賀信彦  
担当理事 浅見豊子

日本リハビリテーション医学会では、2018 年 4 月からの新専門医制度研修プログラム開始に伴い、リハビリテーション専門医を目指す専攻医を主な対象とした教育コンテンツの充実を図っており、4 月には医学書院より「リハビリテーション医学・医療コアテキスト」を発行しました。この度このテキストに従い、「リハビリテーション科専門研修カリキュラム」および関連する書類等の内容を変更しましたのでお知らせいたします。

2018 年 4 月からリハビリテーション科の研修を開始している専攻医（研修カリキュラム制による研修の方を含めます）は、この新しい「リハビリテーション科専門研修カリキュラム」に従って研修を進めてください。旧制度、すなわち 2018 年 3 月までにリハビリテーション科の研修を始めている方は、従来の「リハビリテーション科専門研修カリキュラム」を用いて頂いても結構です。

新しい「リハビリテーション科専門研修カリキュラム」における主な変更点、および変更が加わった関係書類等下記の通りです。

専攻医ならびに指導医の方は変更点を十分にご理解いただき、専攻医の研修が適切に進みますよう、何卒ご理解とご協力のほど宜しくお願い申し上げます。なお、新しいカリキュラムに準じた研修手帳は、近日中に関係の先生方にお届けする予定です。

記

【「リハビリテーション科専門研修カリキュラム」における主な変更点】

- 1) 用語を「リハビリテーション医学・医療コアテキスト」に合わせました。
- 2) 「リハビリテーション医学・医療コアテキスト」に合わせ、「経験すべき疾患・病態」の順序を変更するとともに、「リウマチ性疾患」を独立させて 9 つの分野に分けました。また経験を必須とする疾患・病態を一部追加しました。これにより、経験すべき症例数が一部変更になり、専門医試験受験申請に際して提出する症例報告における分野別の数も変更になりました。
- 3) 「リハビリテーション医学・医療コアテキスト」に含まれるが従来のカリキュラムに含まれていなかった項目を追加しました（「その他」の項目における「フレイル、サルコペニア」、「ロコモティブシンドローム」など）。

【カリキュラム変更に伴い変更のある書類等】

- 1) リハビリテーション科専門研修カリキュラム
- 2) リハビリテーション科専門研修プログラム整備基準
- 3) 44\_専攻医研修マニュアル
- 4) 45\_指導者マニュアル
- 5) 46\_専攻医研修実績記録
- 6) リハビリテーション科専門研修プログラム申請書 A (研修プログラム申請に必要な書類)
- 7) リハビリテーション科一覧表 (同じく研修プログラム申請に必要な書類)

以上